

リサイクル かわらはん

No. 1

太陽と緑

※ごあいさつ※

太陽と緑の会の福祉リサイクルは、発足して一年を越えました。その間市民の皆さんからは、温かいご支援をたまわり、さまざまな品物を提供いただいたり、再生した品物をお買上いただきました。

皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

※リサイクルの台所※

現在の陣容では、正常な運営に月百万円ほど必要ですが、収入は月五十万から六十万円です。どうしてやってこれたのかといふと、専従者に満足な給与を支払わず、ボランティアの方々から、物心両面の援助をいただきなど、出費を切り詰めてなんとかやりくりしてきました。

常設店舗も福本さん、大平さんのご厚意で貸していただき開店することができました。が、家賃はまだ払うことができません。

☆まいつきやってる、ばざーとは、なにであるか。

B A Z A R , M O N T H L Y B A Z A R

いつ・・・毎月第四にちようび。朝11時から。
どこで・・・富田浜二丁目。近藤整形駐車場。
なにを・・・リサイクルの商品を、
どうする・安くて、得しちゃえる。

☆まいにちやってる、みせとは、どういうものであるか。

S H O P , D A Y L Y S H O P

いつ・・・毎日営業。水曜定休。朝、10時から。
どこで・・・東大工町、スターダスト。
なにを・・・リサイクルのいいものを、
どうする・じっくり選べて、大満足。

スターダスト 26-3643
月の宮作業所 44-0171

徳島市富田浜2丁目6番地2
近藤整形外科内太陽と緑の会
編集、発行 近藤文雄

トラックの購入や設備等大きい出費は借入金と、徳島新聞社会文化事業団はじめ、皆様のご寄付によってまかなうことができました。

※店舗がほしい※

徳島市役所の旧東庁舎をもらいたい、と市にお願いしたのは、今の店舗がおかげさまで手狭になったのと、もっと多くのかたにリサイクルの商品を知っていただきたかったからです。

販売量が増えれば、皆さんにも喜んでいただけるし、わたしたちの運営も軌道に乗せられます。

庁舎の解体、移転にかかる費用は、県建設業協会徳島支部のご援助で、やりくりできるメドがたちました。

あとは、どこに立てるかです。便利で、親しみやすい所を求めて、わたしたちは、あっちこっち駆けめぐりました。

※何で始めたかって?*

これを始めたきっかけ?以前私は、「ボバイの家」という通園の作業所に勤務したことがあります。そこで、重度から中程度の知恵遅れの人たちや、重度の身体障害の人たちと付き合ったからです。

平均年齢三十八歳、二十一名の集団でしたが、全員が作業所づくりに参加し、そこで、木工や金属加工、和文タイプ、農作業、と石のラベルはりの作業を通して、きょうもせっせと生きておりました。

※キーワードをみつけた。それは、コミュニティー・ケア※

色々なボランティアや保護者の人たちの参加もあり、地域に根ざす活動をしておったのですが、コミュニティー・ケアつまり、地域でつくる福祉、というにはどこか限界があると思いました。

福祉が進んでいる、遅れている、というそれぞれの土地がら、特色があります。そうしたなかで、障害をもった人たちが、その地域のなかでいきいきと生きることができ、地域もそれを受け入れるという関係を持続するためには、どうしたらいいんだろう。

地域の特性を無視して、桃源郷を金を積んでつくるのなら話は別です。そうではなく、地域のなかで障害のあるなしにかかわらず、人と人とのつながりをつくるには、日常的な施設に慰問に行くというような断片的なものでない取り組みがります。

しかも、普通の社会生活を営みながら、障害をもった人たちが社会参加する必要があると思いました。コミュニティー・ケアとは、そういうことなのです。

※じゃあ、福祉リサイクルはどうなのかな?*

福祉リサイクルは、市民の方々の善意によつて成り立っています。でも、こんなこともあります。

県営住宅の四階に住んで折られる老夫婦から、壊れた冷蔵庫なんかも、トラックでいただき

本浦庄

てまいります。不用品を処分するのに、お金がいる時代です。その、現代に「ご協力ありがとうございました」「わざわざごくろうさま、どう処分しようか、悩んでいたんですね。ありがとうございます」という、会話があります。私たちも、こんな関係が、自然に当たり前の仕事をするなかでできあがっていくことが、喜びです。

※バザーでも、ふれあいが※

「安いねえ」「ハイ、僕が一生懸命、磨きました」自信满满の顔で応対するのが、知恵遅れの人だということに、何人のお客様が気付いたでしょう。

要らないものを持ってきた、堀だしものを探しにきた、どっちだっていいのです。店に行ったら、たまたま名も知らない、障害を持つひとがいた。

そんな空間が、福祉リサイクルの姿、だと思うのです。

※みちしるべ※

社会が、そして健常者が、障害をもった人に何かを与えるという関係だけでなく、障害をもった人たちも、できるかぎり、自分を生かす。

できる量が多い少ないはともかく、社会に積極的に首をつっこんでいく姿を、創造すること。

それぞれの可能性を生かすこと、知恵遅れ、身体障害、精神障害、などと呼ばれている人も、そう呼ばれていない人も。それぞれの持ち味を、伸ばし、發揮し、生かしていくことで、全体として福祉リサイクルを進めること。これが、目的です。

それが、徳島のコミュニティー・ケアを創造していく、糸口になれば……。

スタッフのやりがいは、どうやらここにあるようです。

太陽と線
No.2
July 1, 1986

徳島市富田浜2丁目12-2
近藤整形外科内 太陽と線の会
編集 球行 近藤文雄

好意のリレーで 奇蹟が実現

福祉リサイクル通过对、横から手がまる程、欲しかつた国府店が実現したのは、徳島市当局はじめ市民の皆さんの温かい支援のおかげでした。三不市長さんのご厚意で、県庁舎と多賀の橋子さん頂いたものの延べ130坪ある建物の解体、輸送、再建の費用(最初約800万円くらいかつて)を捻出する鬼込みば審議は、近く、数度の確保し始と絶望的でした。

ところが、徳島県建設業協会 横島支部長 森松泰宏氏が、何をされてもボンを胸にPマークで引受け下さり、行動ついた歓迎は、眞井伸也社長、眞井義久が、直前よくどうぞと云つて下さるので、奇蹟が実現になりました。この間の道筋曲折、想像に達しない人、ない人、ねぐらの人同様、が、最後はしまいか結果は、スマートとした形で、先乗りました。

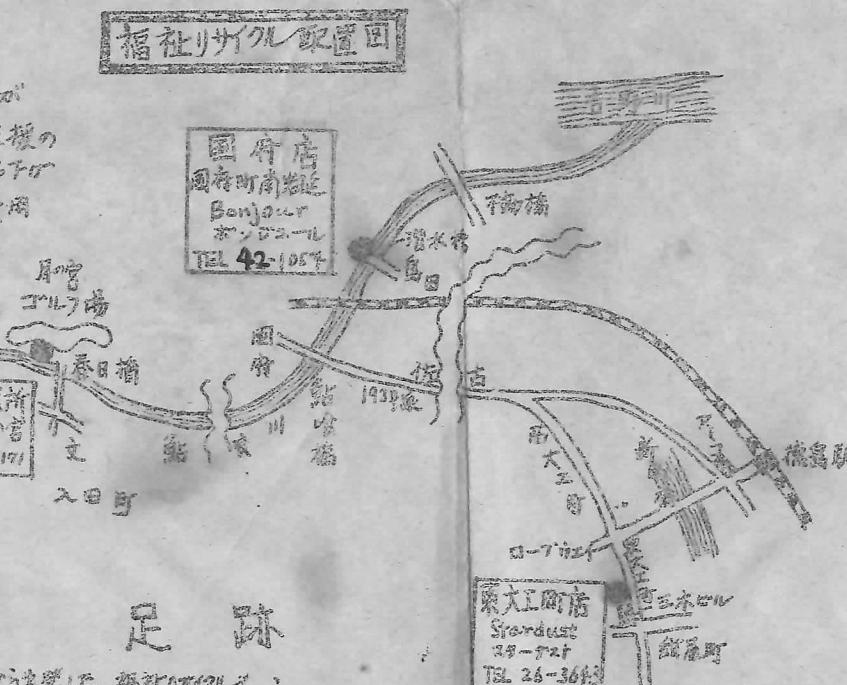
本当に有難いことで、徳島もなかなかやるぞということが、天下に示して下さいました。

経過報告

60.10	板東市議員 板東行介議員に立候門
60.11	板東市議員 比類 東行介議員に市長に面願して、協議を得る
	達成地といふ公私との土地の償却を交渉して不調に終る
61.2	県政本部より 建設費を建築料以下としての 費盡の字をあらわす
61.2	県外移民より 土地の販売せらるる
61.6	県行合解体御贈
61.6	希望用館
61.7	高就開店

太陽と線祝賀会リサイクル 国府店オープン

昭和61年7月6日



足跡

春から実現した 福祉リサイクルと
の1年余、地道的努力の結果、何とか
形が出来て参りました。活動の拠点
としては、多賀所(近藤整形外科)の
地に上の圖のように、月の宮作業所と
東大工商店が、福本健次郎のご厚意
により出来ました。その上、施設内に
国府店の遠慮で、確喰ちも基盤が
出来ました。

目的には、自下導遊者4人、心身
にリハビリを持つ人々、ボランティア、
志士、但に支援をして下さる者を多く
となりました。

品物は、毎日市民の方から寄附が
あたらしく頂いたものも、トータルとハンディー
オブジェ等で、取扱いに上がっています。

いつも道を駆けなして、怪しい大通
轟鳴と聞こえます。気圧小さくとも
300トンの粗大木になると必ず品物
を再生利用しているから、大通
に行けば大通の姿を目にします。

價格は、市価の10分の1くらいで
あります。下着を20年持つん
だけは、中古家具、家具一起購入して
5万円です。

収入は、東大工商店の売上、月100万
円と職場の売上と合わせて、1ヶ月
50~60万円程度にまでなりました。
支出の項目は、導遊者給与、会員登録の
料金、光熱水料、消耗料など

PROFILE
事務局
福本端子

福本 端子(5才) 徳島県人、紅一長、年少ながら美人ですが、男には負けません。スター・アストの店主で、センスを重視しています。
(5才) 新井県出身、リサイクルは、趣味として、高齢の福本端子様が持てます。高齢の二枚目ですが、心が柔らかです。

安 安田 駿(40才) 倉山出身、直井洋介のつて
います。新天地開拓のため奮闘し
ました。国府店の店長です。

太陽と線の会

太陽と線の会は、昭和56年4月に生れました。最初の目的は、筋ジストロジーの患者さんを取扱うために、巡回の筋ジストロジー研究会と設立とともに運動をおこすためでした。昭和58年に当時の国中麻痺から、市が作り上げた約束を締め、昭和59年にそれを神經センターとして研究会ができます。その後にボランティア団体として、主として身体障害者の福利のため、いろいろ活動してきましたが、昭和60年9月に、福浦良が愛知県より来て会に参加し、リサイクルの仕事をすることになりました。車から車を脱しましたが、各方面の支援のおかげで、徐々に活動し、今度国府店となり、すばらしい市長が与えられ、躍進への足がかりを得ました。
市民の皆様に深く感謝申上ります。

会員募集

品物を運搬して下さる方、面倒を買つて下さる方、
仕事を手伝ひ下さる方(ボランティア)居住者
はすべて会員です。
金銭も食費もありませんが、社会を少しでも良
くする元気に、ご自分の無理なくできる範囲で、
遊びに力を下さる方は、どうぞとも歓迎
致します。どちらの方にもどうぞお手をおかけ下さい。
一度でも、短時間でも結構ですから、どうぞ
お気軽にご参加下さい。

太陽と緑

No.4

11.3.1986

徳島市富田浜2丁目12-2
近藤整形外科内 太陽と緑の会
発行者 近藤文雄

テレビ放映

リサイクル活動

愛は地球を救う 24時間テレビ放映で四国放送より全国ネットで流れ小豆が八月二十四日リサイクル活動正ヒリアケテ頂いたことはまさにうれしかった。左元時内閣が早朝の5時であつた鳥に一部の方しか見て頂けなかつたことに心のこりであった。その後の梅浦氏と安部氏がテレビに出演せずかが安部氏が 24時間に歩き夜香川県に帰省せられた時、途中のやま島特リヨウリ店にて激励力を受けてヤマキラのサービスをして頂いたのはテレビで演のおかげとその反響の大変なことにいつくりし且つ嬉しい見つけにござった。次に関西テレビよりリサイクル国府店の活動を放映してくれた際はタ方の時間帯で全国に流れたりで皆さんの方々は多かつたこと思います。このようにリサイクル活動は多方面の方々に認めて頂く支援を賜かつて今後より一層活動致したいとスタッフ一同念じています。

なんでもそろう

太陽と緑の会

国府の福祉リサイクル店

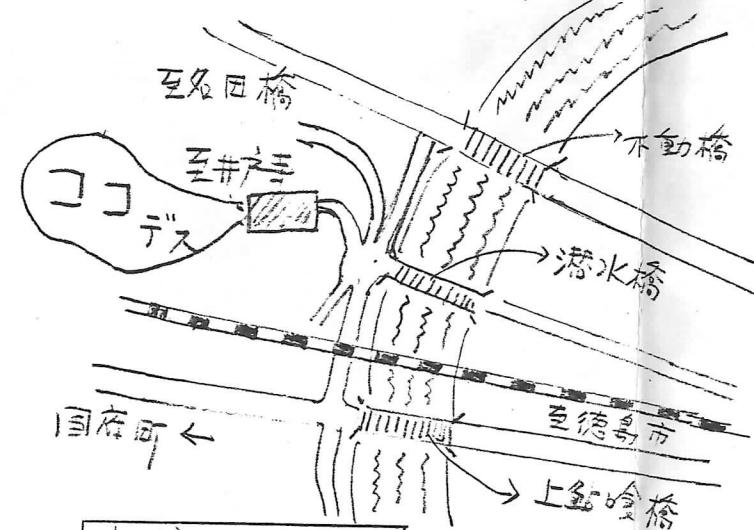
午前10時開店 夕方7時閉店

国府町南岩辻107-1 (定休日毎週水曜日)

T.E.L. 42-1054

皆様のご家庭の不用品を頂きます
電話一本でトラックが参上します

リサイクル店所在地図



太陽と緑の会

昭和46年4月に庄司いました。ボランティア団体です。主として心身障害者の福祉社のためいろいろ活動を行っています。昭和59年よりリサイクル活動を主とやっております。

リサイクル店に来て

安部徹(40才) 香川県出身 車椅子使用者
国府福祉リサイクル店長

昨年から徳島市の月の宮にヒミツ寄せて頂いていました。

梅浦氏エリ姫島へ来ないかと言ふされましたか、私は体力的に月の宮の仕事をするにはまだいいので、聞んでも興味もなかったのですが、今回国府のリサイクル店の仕事をまかすと言われて6月に決めてまいりました。

今まで私がして来た仕事は香川県で印刻ヒガ施設の中でのエレクトニ一製品の組立の仕事又は共同作業所での内職と手と手体とした作業ばかりでした。多くの障害者の方の仕事は35人といふに技術を要するものが多くあります。最近になつてやつと人と接する仕事に障害者も可能性を見出すようになつてまいりました。

私もリサイクルを通して人々と接する事が可能となりとても興味を抱く事で活動しております。他の障害者も人々との間に私は私のリサイクル活動を成功させんべく努力しています。

太陽と緑の会

会員募集

会員もなく会費も不要です。社会を少しでも良くするために無理なく協力できる範囲で進んで参加して下さる方を歓迎致します。どうぞお気軽にご参加ください。

例会日

{ 奇数の木曜日 → 国府リサ
(1. 3. 5. 週) イクル店
{ 偶数の木曜日 → 近藤整形
(2. 4. 6. 週) 病院附属
夜(7時30分より)
9時0分まで